

# 銀座最大の2街区一体開発が実現。「GINZA SIX」が東京の魅力を高める

## 伝統と革新が融合する銀座で、新たな歴史を刻む。「GINZA SIX」4月20日開業

地下3階には、銀座最大規模である観世流の拠点「観世能楽堂」が移転する。一昨年3月に閉鎖した渋谷区松涛の能楽堂で使用していた舞台を移築し、多量観客対応のインフラ整備も進める予定だ。地域に開かれたホールとして観以外のイベントも開催し、伝統文化の発信拠点として銀座を盛り上げていく。

### 世界の銀座にふさわしい舞台へ

もともと観世流宗家の屋敷は、明治維新で洋館地を築くまで銀座にあったという。二十六世紀世宗家の観世清和氏は、「能を演め、若い方々に日本の伝統文化の豊かさや深さにもっと気軽に触れてもらいたい」という思いで、移転を決めたという。

能は決して古いばかりではないという観世氏。「現代人として呼吸している観世清和の感性が古いものを現代にのみがえらせ、そこからお客様に何かを感じ取って見ていただくことが能の世界です」と明言する。

世界中から人が訪れる「GINZA SIX」では、多量観客対応のインフラを整備し、照明などに最新の技術を導入。パリアフリーも積極的に導入し、誰もが能を楽しめる場所を目指す。観世氏は「日本の方にも海外の方にも、雅座屋敷に見えたいだけの場所でありたい。自由に、そして感性豊かに能を受け止めてもらえたらうれしい」と思いを込める。



広さ約1600平方に、460席を備える観世能楽堂。日本の伝統文化を世界に発信していく。なお、投資先は観世氏に、観世能楽堂の一時滞在スペースとして活用される予定だ

### 伝統文化を発信する「観世能楽堂」が施設内に



観世能楽堂の大きな吹き抜け。上へ上へと目を引く観世が描かれた人々を上層へと誘う（イメージ）

■商業地の象徴・銀座に最大規模で誕生  
日本を代表する商業地である銀座。その中心部に、約4万㎡の超巨大複合施設「GINZA SIX」が誕生する。この施設は、銀座の歴史と伝統を継承しながら、最新の商業施設として生まれ変わる。また、観世能楽堂の移転もこの施設内に予定されている。

■通りを彩るラジャアリーブランド  
由緒長い「ラジャアリー」ブランドのファッションビルが、GINZA SIXに集結する。このビルは、銀座の歴史と伝統を継承しながら、最新のファッションビルとして生まれ変わる。また、観世能楽堂の移転もこの施設内に予定されている。



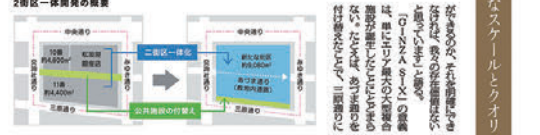
親しみやすくなる空間が、個々の店舗を引き立てる多機能施設内（イメージ）



## GINZA SIX

銀座エリア最大の複合施設となる「GINZA SIX」（銀座六丁目10地区第一種市街地再開発事業）が、1月31日に竣工した。「GINZA SIX」は、松坂屋銀座店舗地を含む街区と、隣接する街区の2街区を一体的に整備することで実現した大規模再開発事業。商業施設や観光施設は4月20日に開業を迎える。

■銀座エリア最大の複合施設が誕生  
「GINZA SIX」は、銀座の歴史と伝統を継承しながら、最新の商業施設として生まれ変わる。また、観世能楽堂の移転もこの施設内に予定されている。



■世界でにじみかいた特別な場所  
GINZA SIXのファードは「G」のデザインを基に、最新のデザインで仕上げられた。また、観世能楽堂の移転もこの施設内に予定されている。

■4社のノウハウを結集した「レジデンス」  
GINZA SIXのレジデンスは、最新のデザインで仕上げられた。また、観世能楽堂の移転もこの施設内に予定されている。

### 再開発で生み出した圧倒的なスケールとクオリティ

### 都市を創り、都市を育む、革新的プロジェクト

### 新しい「目的の施設」となる観世能楽堂移転先